

表2 電気学会CPDポイント表(2025年7月改訂)

CPDパターン	記号	項目	ポイント	上限	説明		
I 知識	講習会、研修会、講演会、シンポジウム等への参加	I-110	学協会・大学等主催の大会、研究会、講演会などへの参加、聴講	1×H H:受講時間	50P/年	1時間の受講が1ポイント、1時間30分→1.5時間と記入(少数第二位まで可)	
		I-120	民間主催の講演会、セミナー、講習会などへの参加、聴講	1×H H:受講時間	50P/年		
	企業内研修及びOJT	I-130	企業内研修、教育、セミナーへの参加	1×H H:受講時間	20P/年		
		I-140	企業内OJTの受講	1×H H:受講時間	20P/年		
	資格取得、自己学習	I-210	国家資格以外の公的資格(専門分野および外国語)の取得、CPDを伴う更新	15P/件	30P/年	*1	
		I-211	国家資格(専門分野および外国語)の取得、CPDを伴う更新	20P/件	40P/年	*1	
		I-212	民間資格(専門分野および外国語)の取得、CPDを伴う更新	15P/件	30P/年	*1	
		I-220	自己学習－認定学術誌の定期購読	5P/件	10P/年	学協会誌(証拠資料必要)	
I-221		自己学習－民間専門誌の定期購読	5P/件	10P/年	証拠資料必要		
II 実務	研究会、論文等の発表	II-110	学会、研究会の発表者および座長	5P/件	30P/年		
		II-111	学会、研究会発表の共著者	5P/件	30P/年		
		II-120	論文の主著者－査読有	5P/ページ	40P/件	*2	
		II-121	論文の主著者－査読無	10P/件	30P/年		
		II-122	論文の共著者－査読有	2.5P/ページ	20P/件	*2	
		II-123	論文の共著者－査読無	5P/件	30P/年		
		II-130	著作、執筆活動(専門分野の書籍、教材;単独、共著、編著)	1P/ページ	40P/件		
	専門的開発業務	II-210	専門的開発業務	ポイント無し	-	通常の業務なので認められない。	
		II-220	プロジェクトリーダ業務	5P/件	30P/年		
		II-230	プロジェクトマネージャ業務、JABEE受審側まとめ役	7P/件	35P/年		
		II-240	特許・実用新案など(出願)	10P/件	30P/年		
		II-241	特許・実用新案など(登録)	20P/件	40P/年		
		II-250	業務上の著しい成果(社内外表彰/学内外表彰)	20P/件	40P/年		
企業内技術指導、業務経験	II-310	企業内技術指導(教育、講演、セミナーなど)の講師	5P/件	30P/年	企業内で行われる研修会等の講師。但し、業務と見なされるものは認められない。		
	II-320	企業内・学内成果発表(論文、報告、発表会など)	5P/件	30P/年			
企画運営、助言、指導	II-330	企業内・学内プロジェクトの企画運営、助言、指導(オーガナイザなど)	ポイント無し	-	通常の業務なので認められない。		
III 貢献	委員会活動	III-110	学協会の委員会活動－委員長・主査・幹事・幹事補佐および編集委員会活動	10P/件	30P/年	*3	
		III-111	学協会の委員会活動－委員、および論文査読	7P/件	35P/年	*3, 論文査読は1件当たり	
		III-120	国内	標準化委員会活動－部会長・委員長・主査	7P/件	35P/年	*3 *4
				標準化委員会活動－幹事・幹事補佐	5P/件	30P/年	*3 *4
		III-122	国内	標準化活動－JEC, TR, JIS制定、改正	10P/件	20P/年	*3 *4
		III-123	海外	標準化活動－議長・国際幹事・幹事補佐	15P/件	30P/TC・年	*3 *4
				標準化活動－エキスパート、コンビナ	10P/件	30P/TC・年	*3 *4
	講演会講師	III-130	学協会主催講演会の講師および教材開発	7P/件	35P/年	業務と見なされるものは認められない。	
		III-220	大学、研究機関主催の講演会の講師	7P/件	28P/年	業務と見なされるもの、大学等の恒常的な非常勤講師は認められない。	
		III-230	民間主催の講演会の講師	5P/件	30P/年	業務と見なされるものは認められない。	
	研究活動等への参加	III-210	大学・研究機関・国家プロジェクト、JABEE審査－委員長・幹事・幹事補佐・審査長	10P/件	30P/年	*3	
III-211		大学・研究機関・国家プロジェクト、JABEE審査－委員・審査員・オブザーバ	7P/件	35P/年	*3		

CPDポイント取得証明書発行の際には証拠書類の提示が必要なので保管しておいてください。

注*1: CPDを必要とする資格の更新も認められる。

注*2: 査読有の論文主著者は1ページ当たり5ポイントで換算する。最大40ポイントまで。共著者は主著者の1/2。

注*3: 学協会の委員会活動、プロジェクト等は活動年度当たりのポイント。委員会活動は、原則として学協会公認のものに限る。

注*4: IEC 技術委員会(Technical Committee)委員会数と任期を評価対象とする。